



アンダーセンウィンドウ

取扱説明書



警告

このたびはアンダーセンウィンドウをご採用いただきましてありがとうございます。この取扱い説明書を読んでご理解頂き、使用およびお手入れを行ってください。この説明書は、ご使用中にご不明な点や、お手入れ方法などをいつでも調べられますように大切に保管してください。

商品改良のため、予告なしに仕様等の変更を行うことがありますのであらかじめご了承ください。

ハウディー株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-9 KDX御茶ノ水ビル5F
TEL (03) 6841-9341 FAX (03) 6880-9005

Come home to quality.
Andersen.



目次

- 目次.....1
- 安全について.....1
- 商品使用上のご注意とお願い.....2
- 操作方法(格子等の取付け・取外し).....3
- 調整方法(戸車・ロック受けの調整).....4
- ガラス清掃時の操作.....5
- 網戸について.....6
- ガラスの破損について.....6
- お手入れ方法.....6



安全について

警告用語の種類と意味

警告用語は、危険度の高さ(または事故の大きさ)に従って、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)をお守りください。

警告用語	意味
注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、人物に中・軽傷を負う場合、また当製品以外の財産に影響を及ぼす場合に使用されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと製品・部品等の損傷・故障につながる場合に使用されます。

商品使用上のご注意とお願い

⚠ 注意

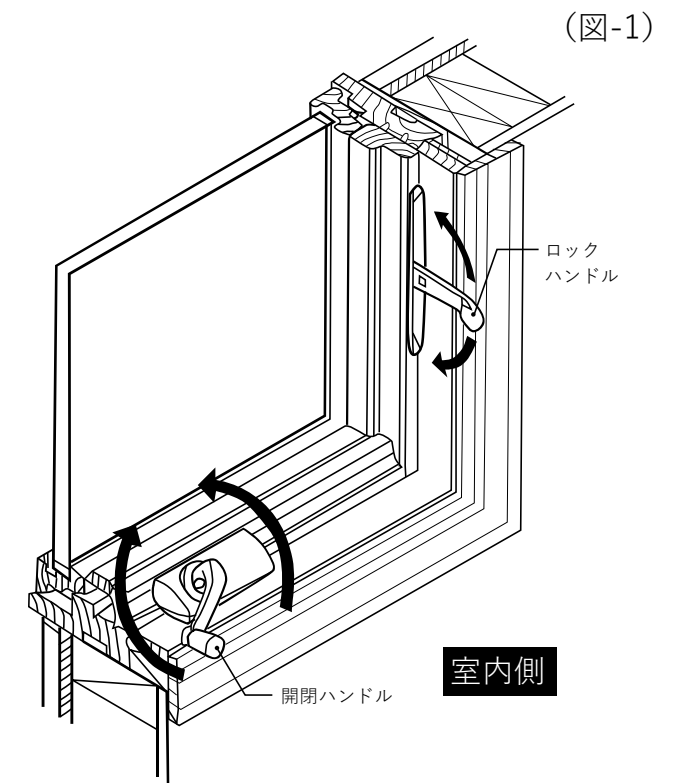
- 網戸によりかかったり、押しつけないでください。網戸が外れて人が落ちると事故(人物・物損)につながります。
- また網戸に物をよりかけないでください。物損や網戸自体の破損の原因となります。

【網戸下部に付いている警告ラベルの内容】

窓種	内容
ケースメント(縦軸回転すべりだし窓)・オーニング(突き出し窓)・グライディング(引き違い窓)・ダブルハング(上げ下げ窓)	網戸は窓からの子供の落下を防止できません。子供は開いた窓から離してください。
ダブルハング(上げ下げ窓)	上の窓のみを開けてください。

🙏 お願い

- 風の強い時は窓を閉めて、必ず施錠してください。窓が飛ばされたり、強風時に開閉すると事故やけがにつながります。
- 開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- 気密性がきわめて高いので適宜、換気を行ってください。
- クレセントおよびハンドルの施・解錠は、最後まで確実に行ってください。半掛かり状態でガラスサッシを開閉すると、ガラスサッシ・クレセントが破損するおそれがあります。
- ケースメント(縦軸回転すべりだし窓)・オーニング(突き出し窓)は、ロックハンドルを完全に解錠してから開閉ハンドルを廻してください。ロックしたまま廻すと、故障の原因になります。(図-1)
- 金具類、ウェザーストリップ(気密性を高めるビニール材)への塗装はお避けください。機能低下のおそれがあります。
- 薄膜フィルムの種類によっては、ガラス表面部分に急激な温度変化を生じガラスが割れることがあります。フィルム等は張らないでください。
- 複層ガラスを使用していますが、そのときの室内の湿度や換気条件によっては、結露する場合があります。カーテンなどが濡れるおそれがあります。
- 室内側の木部を塗装しますが、永久に持つ訳ではありませんので、お手入れが必要です。100%結露しない住宅はなく、結露した水分がガラスからしたり、塗装が劣化した木部に落ちて放置するとカビが発生し、腐りの原因となります。定期的なお手入れを行ってください。



格子の取外し・取付け

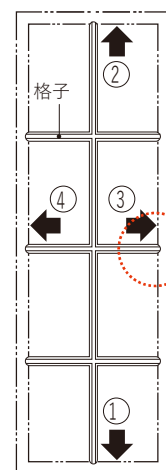
ケースメント(縦軸回転すべり出し窓)・オーニング(突き出し窓)・ダブルハング(上げ下げ窓)・FIX窓

取外し

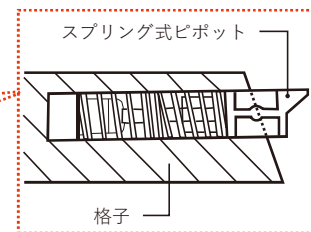
各格子の先端部をつまみ、手前に軽く引っ張り、サッシ框のスリット(差し込み穴)より格子を外します。

取付け

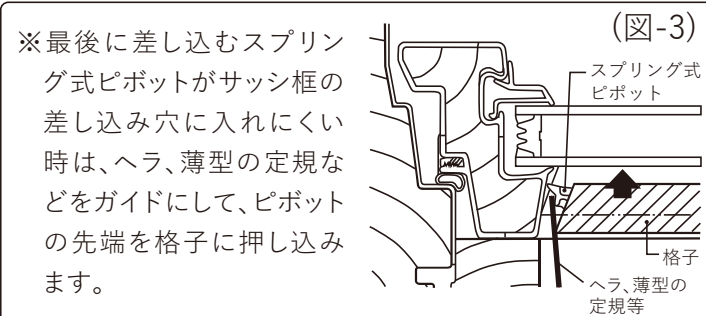
(図-2)



- ①下棧方向スプリング式ピボットをスリット(差し込み穴)に差し込みます。
- ②上棧方向をスリット(差し込み穴)に差し込みます。
- ③片側の縦框のスリット(差し込み穴)に差し込みます。
- ④格子本体を③方向に押しながらガラス面に押しつけ、スプリング式ピボットをスリット(差し込み穴)に差し込みます。



(図-2)



※最後に差し込むスプリング式ピボットがサッシ框の差し込み穴に入れにくい時は、ヘラ、薄型の定規などをガイドにして、ピボットの先端を格子に押し込みます。

グライディング(引き違い窓)・パティオドア(片引きテラス)

(格子は全て木製です)

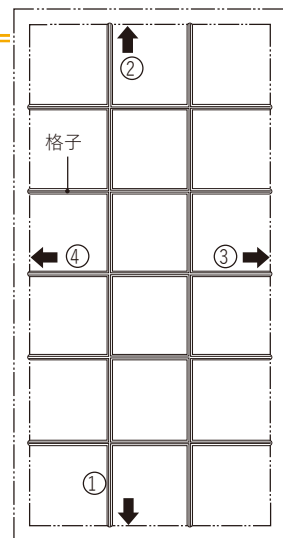
取外し

各格子先端をつまみ、手前に軽く引っ張り、ファスナーから格子を取り外します。

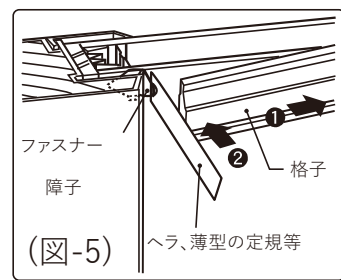
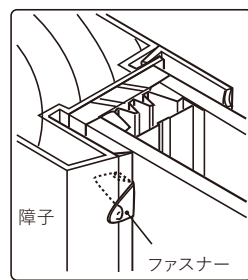
取付け

(図-4)

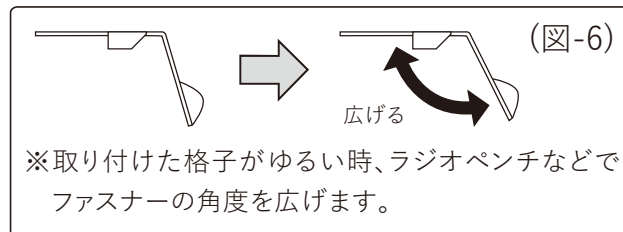
- ①下棧方向ファスナーに格子先端部を合わせます。
- ②上棧方向を連結します。
- ③片側縦框方向を連結します。
- ④格子本体を③方向とガラス面に押し付けて、ファスナーと連結します。



(図-4)



※②の方向の格子が入りにくい時、ファスナーと格子先端との間にヘラ、薄型の定規などを靴べらを使う要領ではめ込みます。(図-5)

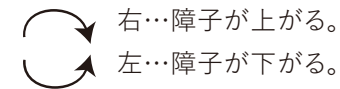


※取り付けた格子がゆるい時、ラジオペンチなどでファスナーの角度を広げます。

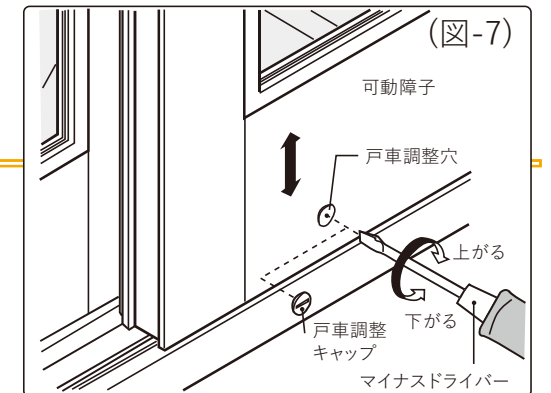
パティオドア(片引きテラス)

●ドア本体と枠との隙間にバラツキがある場合

- ①戸車調整キャップをマイナスドライバーで外します。
- ②マイナスドライバーを差し込み、調整します。(図-7)



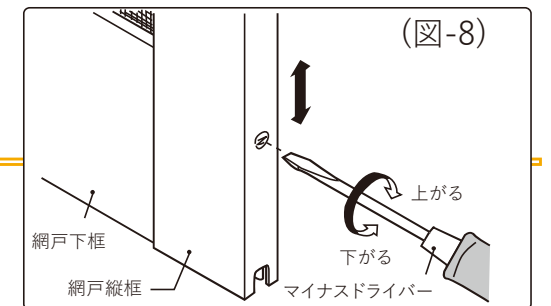
※ロック受け金具の「TARGET」マークと障子側ロックピンの高さが違う場合は、ロック受け金具の高さを調整して合わせます。(図-9)



パティオドア(片引きテラス)網戸

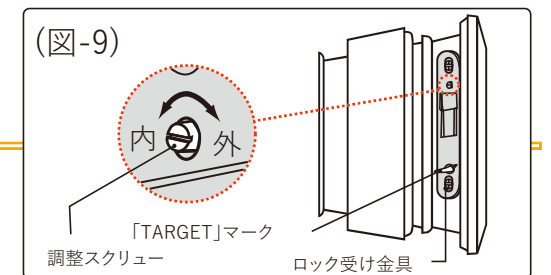
●網戸框とドア縦枠との隙間が均等でない場合

- ①網戸下部にマイナスドライバーを差し込み、高さを調整します。(図-8)



パティオドア(片引きテラス)ロック受け金具

- ロックがかたい・ゆるい場合にはロック受け金具の調整スクリューにマイナスドライバーを差し込み、ロック受けを外・内側に調整します。(図-9)



その他のサッシの調整……建設会社メンテナンス担当者にご相談ください。

ガラス清掃時の操作

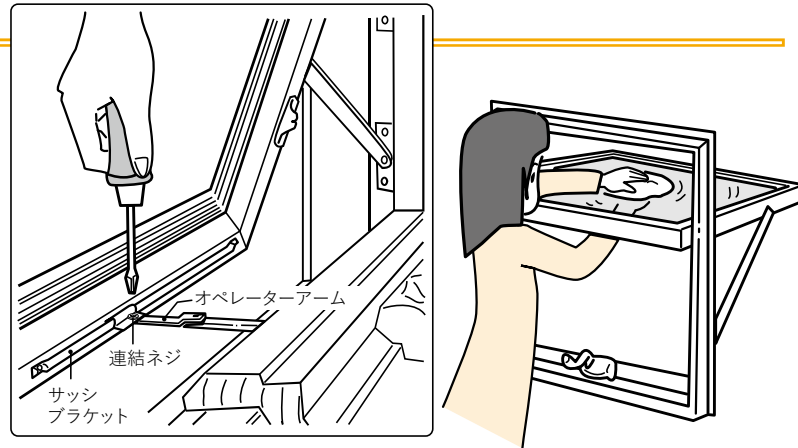
ケースメント(縦軸回転すべり出し窓)

- ①オペレーター(回転式)ハンドルでサッシを80°～90°まで開きます。吊元側に約12cm(窓の品番により異なります)の隙間ができます。
- ②隙間より清掃してください。



オーニング(突き出し窓)

- ①オペレーターアームとサッシブラケットの連結ねじを外します。
- ②サッシを水平になるように動かすと、約10cm(品番により異なります)の隙間ができます。
- ③片手でサッシを支えながら、隙間より清掃します。(サッシは重いので手をはさまないように注意してください)

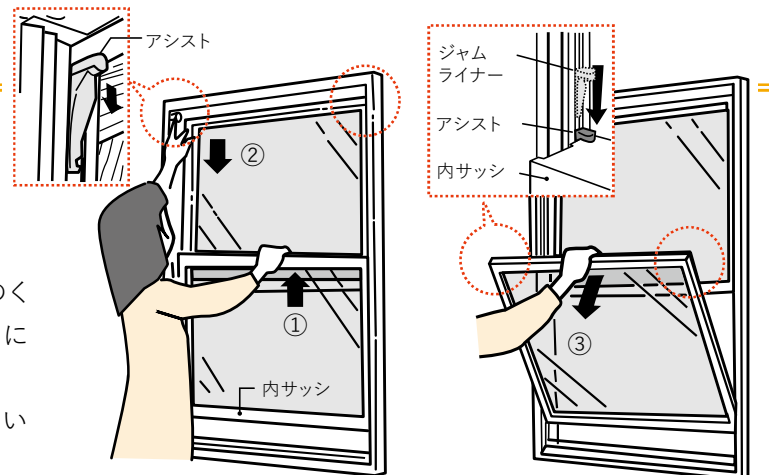


ダブルハング(上げ下げ窓)

(室外側ガラスも室内より清掃できます)

内サッシ

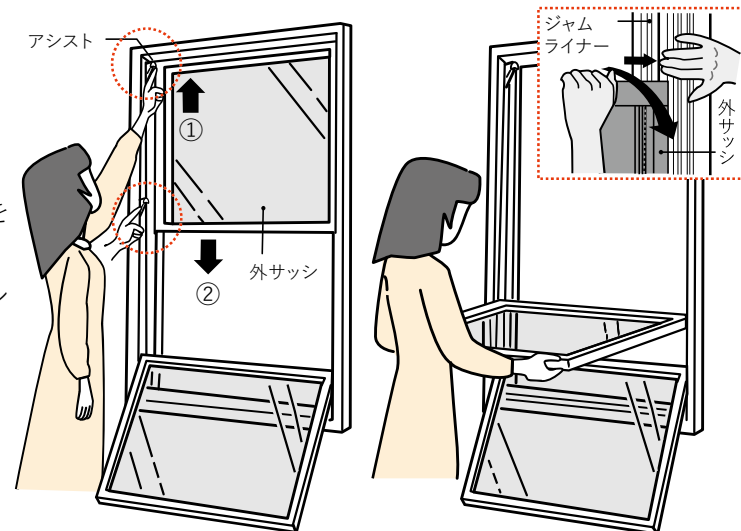
- ①内サッシを約10cmほど引上げます。
- ②上部コーナー(左・右)のアシスト(樹脂製のくさび)を図のように下げ、内サッシと枠の間に強く押し込みます。
- ③内サッシが浮き上がりますので、手前に引いて倒し、掃除をしてください。



外サッシ

- ①アシストを上部コーナー(左・右)まで戻した後、
- ②外サッシを中間の位置まで引き下げます。
- ③右側のレールを手で強く押し付け、外サッシをレールから外した状態にします。
- ④左側のレールを強く押し付けながら、外サッシを手前に引いて外します。

- 内・外サッシ共、サッシを手前に倒した際、サッシを椅子などで支えられるよう台を置くと、より安全です。



網戸について

- 網やぶれ等による交換は全て網戸のフレーム(枠)も含む完成品としての交換になります。

ガラスの破損について

- ガラスのみの交換は特殊ガラスの使用と、空気層にアルゴンガスを封入している為できません。建具(サッシ枠を含む)交換となりますので国内在庫の有無等、破損の場合は建設会社にお問い合わせください。

お手入れ方法

アンダーセン製品の外観や機能を保つため、定期的にお手入れをしていただくことをお勧めしています。ほとんどの地域では年に何回かのお手入れで問題ありませんが、海沿い、工業地帯、農業地域などでは、ある程度頻繁なお手入れをお勧めしています。

ケースメント(縦軸回転すべり出し窓)・オーニング(突き出し窓)のオペレーター・レール

- ハンドル操作がきつくなった場合、スプレー式潤滑油(クレポリメイト)等を本体ギヤ部分に吹き付け、2～3分程放置してください。操作がスムーズになります。
- 開閉した際に見えるレール部分には、特にホコリ・砂等がたまる場合があります。開閉しにくくなるおそれがあります。適宜に清掃をお願いします。
- レール部分・ロック部分が開閉、施・解錠がしにくくなった場合、スプレー式潤滑油等の散布によって具合をお確かめください。(全てのサッシの種類に有効)
- レールのネジは定期的に検査し、必要に応じて締め直してください。

お手入れ時のお願い

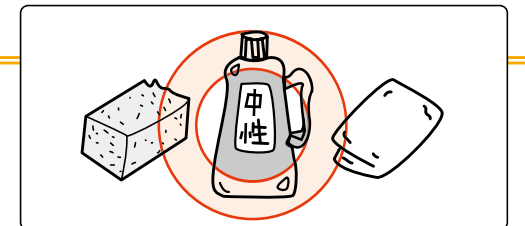
※PVC(硬質塩化ビニル)面に付いた潤滑油は速やかにふき取ってください。

PVC面(硬質塩化ビニル)

- 汚れた場合は、水または中性洗剤を使用し、布やスポンジなど柔らかいものでふいてください。

お手入れ時のお願い

※ベンジン、ガソリン、アセトン、シンナーなど有機溶剤は使用しないでください。
※ワイヤーブラシ、金属タワシ、金ペラ、研磨剤などを使用しないでください。表面に傷がつきます。



網戸

- 網戸を外し、網の張ってある側を下にして床に置き、柔らかいブラシ、スポンジなどで水洗いしてください。油污れがひどい場合は、中性洗剤などにしばらく付け置きしてからの方がよいでしょう。

お手入れ時のお願い

※網の張ってある側を上にしたたり、立てかけたまま洗浄すると網が押されてゆるんだり、破れたりするおそれがあります。

